

1. 「世界青年の船」事業（オンライン）

「世界青年の船」事業（オンライン）は、世界 8 か国（オーストラリア連邦、ニュージーランド、オマーン国、ポーランド共和国、ロシア連邦、南アフリカ共和国、スリランカ民主社会主義共和国、スウェーデン王国）及び日本から集まった約 80 名の青年（対象：おおむね 18 歳から 30 歳）が 2022 年 1 月～2 月の間の 4 回、オンライン交流を行い、国際化の進展する各分野でリーダーシップを発揮して社会貢献を行う力を育成する内閣府主催の国際交流事業です。事業でのディスカッション、参加青年主体のワークショップや文化交流を通じて国境を越えた強い人的ネットワークの構築や異文化対応力の向上を図ります。

本事業で実施されるコース・ディスカッションのファシリテーターを 4 名募集します。

2019 年度事業概要はこちらをご覧ください：<https://www8.cao.go.jp/youth/kouryu/data/swy.html>

（※通常はクルーズ船を使用して実施していますが、コロナ禍によりオンラインで実施するものです。

2. コース・ディスカッションとは

参加青年は事業期間中、4 つのそれぞれ違ったアカデミックなコースディスカッションテーマに取り組みます。コース・ディスカッションとは、多国籍から成る約 80 名の参加青年が希望に基づいて約 20 名ずつコースに分かれ、ファシリテーターの指導の下、オンラインによるディスカッション・セッションを 4 回程度行うプログラムです（1 セッション 2 時間程度を予定）。

参加青年は、コース・ディスカッションを通してそれぞれのテーマの実情について理解を深め、課題解決の糸口を探ります。また、参加青年が率直かつ活発な意見交換を通じ、相互理解の促進、文化の異なる集団の中でのコミュニケーション能力を身に付けることも目的としています。

3. コーステーマについて

コース・ディスカッションは、SDG s を共通テーマとして、4 つ（社会問題（貧困、飢餓、教育等）、ジェンダー問題、経済問題（雇用、経済格差等）、環境問題（気候変動、海洋問題、生物多様性等））の分野に分かれて実施します。ファシリテーター応募者は、自身が専門とする分野を選び、コース・タイトルとコースのアウトラインを考案し、所定の様式にて提出してください。

<コース・タイトルの過去の例>

地球環境と気候変動コース、健康とウェルビーイングコース（共に 2019 年度実施）

ダイバーシティ推進とインクルーシブ社会の実現コース（2017 年度実施）

4. ファシリテーター業務に係る日程

2021年11月4日・8日 ディスカッションプログラム等準備のための事前打合せ会議：オンライン

2021年12月4日・11日 日本参加青年事前研修：オンライン

2022年1月15日、22日、29日、2月12日 オンライン交流（コース・ディスカッション）：オンライン

（オンライン交流（4日間）の日程）

オンライン交流① (1/15(土)15:00-18:00)	開講式、オリエンテーション、コース・ディスカッション① (講演会を含む)
オンライン交流② (1/22(土)15:00-18:00)	コース・ディスカッション②、ワークショップ①
オンライン交流③ (1/29(土)15:00-18:00)	コース・ディスカッション③、ワークショップ②
オンライン交流④ (2/12(土)15:00-18:00)	コース・ディスカッション④(各テーマごとに成果を発表)、 ワークショップ③(各ワークショップの結果を発表)、修了式

5. ファシリテーターの役割

各コースに所属の国籍が異なる参加青年を対象に行うグループディスカッションの運営を統括する。テーマに関する指導やディスカッションの進行など、ディスカッションに関する参加青年の活動をサポートし、参加青年がその成果を事後活動に活かすよう指導・助言する。

6. 業務内容

- 担当するコースの事前課題及びねらいとセッションの内容を作成する。
- 事業に先立ち、ディスカッションプログラム等準備のための打合せ会議に出席し、事業の全体像やコース運営について理解を深め、ファシリテーションやその他の業務の準備を行う。
- 日本参加青年の研修に参加し、コース・ディスカッションの導入セッションを実施する。
- オンライン交流におけるコース・ディスカッションを運営する。
- 4回目のコース・ディスカッションで実施する成果発表の企画・運営を統括する。
- コース・ディスカッションの活動記録の取りまとめ、その他、コース・ディスカッションの運営において、内閣府から求められた必要な業務について行う。

※ 内閣府は本事業の運営業務の一部を委託する予定であり、委託先から指導・助言が行われた場合には、これに従うこと。

7. ファシリテーターの応募要件

- ディスカッションを実施する上で十分な英語能力を有すること（参考：TOEIC860以上、TOEFL(iBT)100以上、IELTS7.0以上もしくはそれに相当する能力）。

- ディスカッションのテーマについての知識や、ディスカッションをファシリテートできる能力を有すること。
- 4. に提示している全日程に参加できること。
- 心身ともに健康であること。

8. ファシリテーターに提供される経費

4. に提示しているプログラム参加に対する謝金（源泉税込み 18,300 円（1日3時間当たりの見込額）

※プログラムへの参加以外にも、必要と認められる業務（準備等）については、謝金が支払われます。

9. 募集人数

4名

10. 応募締切

2021年9月3日（金）午前10時00分（日本時間）

※決定は10月中旬を予定

11. 提出書類

- 応募用紙 1通（別添1の様式を使用）/専門分野が複数ある場合は2通まで応募可（異なる分野で2通応募する場合でも、推薦状は1通のみでかまわない）
 - 推薦状 1通（様式自由）
- ※ 推薦状は、応募者の専門知識や実務経験を証明できる人物に書いてもらうこと。応募者の適性を確認するために、推薦者に連絡を取る場合があるので、推薦者の氏名、所属、連絡先を明記すること。

12. 応募方法

応募フォームで氏名・メールアドレス等の入力完了すると、内閣府からメールが届きます。届いたメールアドレスに応募用紙と推薦状（全てPDF形式）を添付して、期日までに送付してください。

13. 問合せ先

内閣府青年国際交流担当室 「世界青年の船」事業担当

TEL：03-6257-1433（平日/10：00 - 18：00）祝日を除く